

2025 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ヘ リ オ ス  
代表者名 代表執行役社長 CEO 鍵 本 忠 尚  
(コード番号：4593 東証グロース)

## 日本薬物動態学会第 40 回年会での細胞治療製品の評価法に関する 研究成果発表のお知らせ

2025 年 10 月 20 日から 23 日まで京都市勧業館「みやこめっせ」で開催される日本薬物動態学会第 40 回年会（<https://www.jssx40.org/>）において、当社が研究開発を進めている細胞治療製品の体内動態評価法に関する研究成果について発表しますのでお知らせ致します。詳細につきましては下記をご確認ください。

### 記

日 時：10 月 21 日（火）～23 日（木）

会 場：京都市勧業館「みやこめっせ」F 会場（1F 第 2 展示場 B/C）

発表形式：ポスター展示

セッション：一般演題（ポスター発表）、演題番号：P-125

演題名：非臨床 biodistribution 試験の細胞治療製品定量における高感度 direct qPCR 法の確立

発表者：成富洋一、佐藤優香、後藤久美子、竹野友理子、木村博信、田村康一

発表者所属：株式会社ヘリオス神戸研究所 開発研究部 非臨床研究グループ

以 上

### ■株式会社ヘリオスについて

再生医療は、世界中の難治性疾患の患者さんにとって新たな治療法として期待されています。この分野では、製品開発・実用化への取り組みが広がり、将来的には大きな市場となるが見込まれています。ヘリオスは、iPS 細胞（人工多能性幹細胞）などを用いた再生医薬品開発のフロンランナーとして、実用化の可能性のあるパイプラインを複数保有するバイオテクノロジー企業です。2011 年に設立、2015 年に株式上場（東証グロース:4593）し、再生医薬品の実用化を目指して研究開発を進めています。体性幹細胞再生医薬品分野では、健康な成人ドナー骨髄由来の体性幹細胞から成る独自の細胞製品である HLCM051 を使用した脳梗塞急性期や急性呼吸窮迫症候群（ARDS）及び外傷の治療を実施しています。HLCM051 は、強力な抗炎症作用と免疫調節作用を示すことが示されており、さまざまな病態への応用が可能です。後期臨床試験において数百人の患者さんで試験され、3D 培養法で一貫して製造されており、複数の適応症において数百人の患者さんで安全性と有効性の両方が実証されています。ヘリオスは、脳梗塞急性期、ARDS、外傷に対し、HLCM051 をグローバルに推進してまいります。iPSC 再生医薬品分野では、免疫拒絶のリスクを低減する次世代 iPS 細胞であるユニバーサルドナーセル (UDC: Universal Donor Cell) を作製し、さらには、遺伝子編集技術により固形がんに対する殺傷能力を強

化した次世代 NK 細胞（eNK®細胞）の開発を進めています。eNK®細胞は、動物モデルにおいて強固な抗腫瘍効果を実証しており、大量生産が可能な 3D バイオリアクターでの製造プロセスを実現しています。これらにより、がん免疫領域をはじめ、眼科領域、肝臓領域などで新規治療薬の開発に取り組んでいます。

<https://www.healios.co.jp>

本件に関するお問合せ先  
IR 広報部 [ir@healios.jp](mailto:ir@healios.jp)